

211クレーンを起因物とする死傷災害事例(最大99事例まで) (2020年)

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	小業種	労働者規模
1	2020	1	11 ～ 12	工場で梁材料移動作業中（2人作業）に2.8tホイスト式クレーンのペンダントを操作していた際、梁材料を下ろすとき、被災者の手元を確認しなかったため、被災者が右手人差し指に裂傷を負った。	30	7	11209	30～ 49
2	2020	1	8 ～ 9	製作所でトラックからクレーンでH型鋼材5本を荷降ろし作業中、荷台から落下し、その上にH型鋼が落ち、死亡した。	39	5	40301	10～ 29
3	2020	1	8 ～ 9	事業所にて、アンカーボルトを取り付けるため、クレーンでエンジンスキッドを吊って横向きにするとき、ホーズエを125mmの釘で固定したと思い込み（実際は65mmの釘で仮固定だった）吊り荷の下に体を入れて、ホーズエが外れ左足にエンジンスキッドが落下し、左足骨にヒビが入った。	38	4	11709	30～ 49
4	2020	1	13 ～ 14	流通施設内にある自動倉庫で、昇降クレーンを動かしながらチェーンの油を拭き取っていたところ、クレーンが下りてきて右手を打撲した。	44	7	80109	100 ～ 299
5	2020	1	9 ～ 10	工場内で、トラックの荷台にスクラブ入りの箱（60cm×60cm×60cm、100kg）を積み込んでいた。荷台上で、左手に持ったりリモコンで天井クレーンを操作し、吊り上げた箱を荷台へ下ろそうとした。その際に箱が揺れ、箱に触れていた右手（手袋着用）の小指を挟んで切断した。	35	7	11209	1～9
			15	工場内で金型組付作業中、重量物（約2t）をクレーン操作で吊り				30～

6	2020	1	16	～	上げようとした際、ワークが横滑りし、左手をワーク近くに置いていたため、左手中指、人差し指を挟み切断した。	62	7	11203	49	
7	2020	1	8	～	9	工場で、プレス機から型を取り出すためクレーンで吊り、クレーンのフックが外れ、型が左手親指の上に落下し骨折した。	35	4	10806	50～ 99
8	2020	1	16	～	17	圧搾場で、もろみの乗った土台板を持ち上げるためフックとワイヤーを取り付けていた際、フックとワイヤーに左手環指が挟まれたまま引き上げられ、第一関節断裂を負った。	50	7	10109	10～ 29
9	2020	1	16	～	17	工場で台車に製品（約8.7t）を据える際、枕木調整のため右手で支えて左手でリモコン操作を行ったところ、製品と枕木の停止が遅れて右手が挟まれ、示指と中指を骨折した。	55	7	11002	100 ～ 299
10	2020	1	15	～	16	ショット機にH鋼を通し加工する作業中、クランプが外れてH鋼が落下し、左足太腿骨折、血管切断、右足首骨折を負った。	47	6	11209	10～ 29
11	2020	1	13	～	14	重さ2tの鉄板2枚を工場内に搬入し、鉄板を地面に置いてワイヤーロープを鉄板から外す際、滑車を上昇させずに横移動で引き抜こうとしたところ、滑車が振り子のように振れて右腰に当たって転倒し、右大殿筋皮下血腫、骨盤を折った。	64	6	30203	10～ 29
12	2020	1	10	～	11	天井クレーンで、H形鋼の荷上げ時に荷崩れを起こし、左足のすねから膝に掛けて荷が乗り、左膝を骨折した。	75	6	11209	1～9
13	2020	2	10	～	11	工場内で、射出成形機にカバーを取り付けるため、ホイストクレーンで約30cm吊り上げたとき、吊りボルトを固定したナットが抜け、カバーが床面に落下して倒れ、そのカバーの下敷きとなり右足首距骨を折った。	31	5	40301	30～ 49
			11			浄化センターで、門型クレーンを使用してエアレーターを搬入しようとしたが、クレーン下部にバーがあるため搬入できなかった。				

14	2020	2	～ 12	た。そのためバーを取り外したところ、荷重に耐えきれず支柱が開き、アイビームと電動ホイスト（計400kg）が落下した。その際、バーを持ち上げていた被災者が下敷きになり、腰椎を折った。	57	5	11702	1～9
15	2020	2	11 ～ 12	スクラップ置場から、クレーンを用いて溶解用スクラップ（28t）を移動する際、ドラム缶1本をチェーン式フックで2点吊りした。その際に片方のチェーンが切れ、ドラム缶が振り子状態になり、後ろにあったドラム缶との間に腰部が挟まれて骨盤を折った。	61	6	11102	30～ 49
16	2020	2	～ 17	16 工場でトラックに積むコンドメ（鉄板、120×100×1mm）20枚1束8セットを天井ホイストで吊り上げていたとき、コンドメが滑り 17 落ちて跳ね、左足首に当たり挫傷を負った。	22	4	11209	10～ 29
17	2020	2	～ 16	15 船で航行中、船内に備え付けられているクレーンのワイヤーを巻き取りながら手でグリスを塗っていた際、右手がワイヤーと滑車 16 に挟まれて中指・薬指・小指を切断した。	39	7	40102	10～ 29
18	2020	2	～ 17	16 工場内で、作業物をクレーンで吊り上げて補強材を取り付けていた際、突起部分と補強材の間に左手親指が挟まれ切断した。	72	7	11209	1～9
19	2020	3	～ 16	15 工場内でリコイラードラムを移動する際、吊り荷のドラムが振れて重心がずれて落下した。その際、塩ビ管とドラムの間に左手が 16 挟まれ骨折した。	43	4	11209	30～ 49
20	2020	3	～ 10	9 工場内で整理棚をクレーンで吊っていた際、重心がずれて被災者 の方へ傾いたので押さえようとしたところ、近くにあった定盤と 10 の間に右手人差し指を挟んで裂傷を負った。	24	7	11201	10～ 29
21	2020	3	～ 17	16 工場内で、横蓋にホイストを引っ掛けて固定し、鉄の棒で衝撃を与えて外そうとした。うまく外れなかったため、ホイストを更に 上昇させ、鉄の棒で力を加えたところ、勢いよく蓋が外れた。そ 17 のはずみで鉄の棒が押し上げられて左頬に当たり、後方へ転倒して後頭部を打撲した。	67	6	10909	10～ 29

22	2020	3	13 ～ 14	倉庫内で、荷物を天井クレーンで移動中、クレーンのワイヤーが仮設門扉の束に引っ掛かり、束が落下し、左手甲に当たり骨折した。	72	4	30209	10～ 29
23	2020	3	17 ～ 18	工場中、台（60cm）の上に乗りグライダーを使い黒皮取り作業中、梁と作業台の上に右足が挟まれ、右距骨開放脱臼、骨折を負った。	21	7	11209	1～9
24	2020	3	13 ～ 14	工場内で溶解した鉄を鋳物の型に流し込む作業中、溶けた鉄を入れた容器（トリベ）を吊り上げているホイストのチェーン部分から異音が出た。そのため、一旦作業を中止し、容器を下に下ろす作業中に一気に落下し、中に入っていた鉄が落下の衝撃であふれ出して長靴型安全靴の履き込み口から入って、足の甲部分に掛かり熱傷を負った。	27	11	11002	10～ 29
25	2020	3	14 ～ 15	工場内の外ヤードで、ホイストクレーンで鉄骨を降ろしているときに、自分の足下を見ずに鉄骨を降ろして、鉄骨の尖った部位が、安全靴の上から左足甲に刺さり、左足第2中足骨を折った。	53	6	11209	10～ 29
26	2020	3	16 ～ 17	積込場で、クランプでH鋼を挟んで積込中、枕木の位置を合わせていたところ、着地した際にクランプのロックが外れてクランプ自体も外れ、H鋼が倒れてH鋼と枕木の間で右手環指が挟まれて骨折した。	63	7	40301	10～ 29
27	2020	3	14 ～ 15	内パイプをマグネットホルダーで吊り、外パイプに挿入していたところ、内パイプが落下して外パイプに添えていた手を挟み左手甲を骨折した。	67	7	11209	10～ 29
28	2020	4	10 ～ 11	工場中、溶接組み立て作業中に、クレーンで移動したブラケットが側板に当たり、定盤に固定していた溶接が外れて倒れる際、左足に接触し左下腿に挫創を負った。	54	6	11209	30～ 49
			11	鋳造工場内、砂型造型場で、クレーンを用いて二人一組で解体作業を行っていたとき、クレーン操縦者が地切り確認を怠った				100

29	2020	4	～ 12	め、吊っていた砂型の枠が横転し、別の枠と衝突した。その際、 レール上の定盤（木製）を取ろうとしていた被災者の右手が枠との間に挟まれ、右手人差し指を骨折した。	65	6	11102	～ 299
30	2020	4	～ 9	8 本場でダンプの荷台に重機のアタッチメントの積み込みを行って いるところ、指がアタッチメントの下に入り、その重みで指先に 9 擦り傷を負った。	24	7	30209	30～ 49
31	2020	4	～ 12	11 工場で、天井クレーンを使用して5本組の電磁合板（幅64×高 1100mm、384kg）を、材料供給機にセットしていた。本来は電 12 磁合板のワイヤー1本を残した状態で倒れ止め措置を行うところ を、電磁合板のワイヤーを全て解除したため、電磁合板が倒れ た。その際、右足が下敷きになり、膝を骨折した。	44	7	11402	10～ 29
32	2020	4	～ 9	8 住宅用パネルをクレーンで吊り上げ移動中、吊り上げ部分の厚み を調整しなかったため、吊り上げたパネルが落下し、右手首に当 9 たり、右手関節脱臼骨折を負った。	48	4	30202	1～9
33	2020	4	～ 12	11 コンクリートパイルの積込み作業中、トレーラーの荷台上で、玉 外し作業を行っていたところ、クレーンが走行し始め、吊り荷の 12 コンクリートパイルと荷台上のスタンションに挟まれ、左膝関節 内側靭帯損傷、左臀部挫創を負った。	55	7	40301	10～ 29
34	2020	4	～ 12	11 工場内で、船舶用のブロック（17×15m、約20t）をクレーンで 仮置きする作業中、玉掛けの補助でブロックを置くバン木を調整 12 中、ブロックが動いてバン木とブロックの間に右手を挟み、示指 に挫滅創、中指と環指を骨折した。	37	7	11501	1～9
35	2020	4	～ 14	13 採石場内で、鉄製コルゲートを移動式クレーンで吊り上げ中、左 手薬指を鉄板に挟んで裂傷を負った。	72	7	20201	30～ 49
36	2020	4	～ 8	7 工場内でホイストクレーンの補助作業中、ボイル釜とボックスに 指を挟まれ、右手中指を骨折および靭帯断裂を負った。	35	7	10103	30～ 49

37	2020	5	11 ～ 12	クレーンにて、吊り荷（板材）が中心からずれた状態で玉掛けを行い、インチングにて上昇させ、地切りした。そのとき、吊り荷が被災者側に揺れ、後方に置いてあった材料（板材）に左足脛部が挟まれて骨折した。	55	7	11502	～ 9999	1000
38	2020	5	16 ～ 17	タワークレーンで、クレーン指定位置に戻すため、吊り上げワイヤーを外す作業中、フックを巻き上げた際、型枠材が20cm持ち上がり、足場手摺材と型枠材に挟まれ、顔面を強打し、目底亀裂骨折し、鼻に裂傷を負った。	27	7	30201	10～ 29	
39	2020	5	17 ～ 18	鋳物大型枠（70kg）をクレーンで板パレットに移す作業中、枠の端が落下し、左足甲に当たり、骨折した。	44	4	11002	50～ 99	
40	2020	5	10 ～ 11	工場内で、鉄骨組立中、クレーンでコラムを降ろす際、左足指先端が挟まれ、骨折した。	41	6	11209	10～ 29	
41	2020	5	15 ～ 16	3tトラック荷台から金型（幅280×長さ270×厚み330、重さ150kg）をクレーンで吊り上げて降ろしているときに、金型が揺れないよう、手で支えていた。その際に、第4腰椎を圧迫骨折した。	76	19	11301	10～ 29	
42	2020	5	9 ～ 10	チェーンを使ってチョーク吊りをし、鋼板をラックに差し込んだため、吊り具のチェーンがラックのポールに引っ掛かったにも関わらず、クレーンをさらに横行させ、左環指不全切断、左手背部切創、両顔面切創を負った。	44	7	11509	1000 ～ 9999	
43	2020	5	9 ～ 10	倉庫で資材を吊り下ろし作業中、バランスが崩れて資材が落下し、左手首から先を資材に挟まれて創傷を負った。	70	4	30201	1～9	
44	2020	5	11 ～ 12	天井クレーンを使用して、トラックの荷台へ条材の積み込み作業を行っていた。被災者は荷台の端部に積んでいた6枚の上に乗っていたところ、移動してきた条材に接触して上2枚が荷崩れを起こ	33	1	11501	300 ～ 499	

				し、飛び降りた際に右足を骨折した。				
45	2020	5	14	建設協同組合に産廃（製品）を持ち込み、先方の重機で荷降ろししていたところ、クランプしていた商品が崩れ、被災者の右足の甲に落ち骨折した。	54	4	10901	30～ 49
46	2020	6	9	作業場内で鋼材（H鋼、20cm×12m）をクレーンで移動しようとした際、床に置いていた鋼材が左足爪先の上に倒れて、左足指を骨折した。	68	6	40301	50～ 99
47	2020	6	9	塗装ヤードで機械の調整中に、別の作業をしていたクレーンの台座に体を挟まれ、骨盤を折り、股関節を脱臼した。	42	7	11209	10～ 29
48	2020	6	13	工場内で部材（H鋼11m×3本、約400kg）をクレーンを使い西側から東側へ移動していた。その際、リモコン操作を誤り、部材が自分の方に向かってきたので咄嗟に左手で止めようとして左腕橈骨・左手首を骨折、亜脱臼した。	64	6	11209	1～9
49	2020	6	13	粉碎テーブル中子をセットするため、中子（4.3t）をクレーンで吊り上げて90度起こす際、地切時に荷が振れたので手で止めようとしたが止めきれず、粉碎テーブル中子と金枠の間に挟まれ、骨盤と背骨を折った。	24	6	11301	50～ 99
50	2020	6	9	工場内で、オイルの入ったドラム缶をクレーンで持ち上げた際、バランスが取れておらず、右足の上に落下した。このとき、右足小指を骨折した。	32	4	11509	30～ 49
51	2020	6	9	ミキサープラントの修理をするため、プラント上部をクレーンを使ってワイヤー2本で吊り上げ、降ろして横に倒そうとした際、ワイヤーが滑って左足先端が挟まれ指4本を骨折した。	56	6	170209	10～ 29
52	2020	6	11	籠の中に積んでいた製品を、クレーンで所定場所に運んでいた際、2～3cm持ち上げたところでクレーンの引っ掛かりを直そうとしたところ、右手がプーリーの下に入ったタイミングで製品が落	26	4	170101	100 ～ 299

				ち、製品と製品の間に右手小指を挟んで内出血を負った。				
53	2020	6	11 ～ 12	籠の中に積んでいた製品をクレーンで所定場所に運んでいた際、2 ～3cm持ち上げたところでクレーンの引っ掛かりを直そうとした ところ、右手がプーリーの下に入ったタイミングで製品が落ち、 製品と製品の間に右手小指を挟んで内出血を負った。	26	4	11301	10～ 29
54	2020	6	5 ～ 6	工場内で羽根付掘削機（10m）をプレス機で曲げ修正作業で、反 対側をプレスするためにクレーンで吊り上げ180度回転させるた め、二人で両端に手を添え回転中、目測を誤り近くにあったケー シング缶と掘削機の間左手を挟み、左手第2、3、4指の甲側に 挫創を負った。	32	7	11301	1～9
55	2020	6	15 ～ 16	工場内で、トラック荷台へ荷降ろしの作業手伝いで、クレーンで 吊上げた吊荷が回転して指を挟み、右環指に腱断裂を負った。	41	7	11209	1～9
56	2020	7	11 ～ 12	工場内で、駐車場の柱部分を加工溶接するため、材料を天井ク レーンで吊したところ、バランスが悪く、手で押さえようとした とき、吊していた材料の反動で、下に積んでいた材料との間に左 手中指を挟み剥離骨折した。	50	7	30209	10～ 29
57	2020	7	14 ～ 15	コの字型鉄チャンネル（125mm×50mm×12m）を切断機に投入 中、クレーンでチャンネルを吊上げた際、フックが外れ、足に落 下し、右足親指を骨折した。	28	4	11209	1～9
58	2020	7	10 ～ 11	岸壁接岸船艙内で、クレーンで艙内に積み込まれてきた丸棒鋼材 （径15cm×4m、10束、約5トン）が船底の所定の位置に着床する 際、貨物が揺れて動いた。そのため、揺れを止めようと貨物を左 手で押さえたとき、貨物と貨物の間に左手親指を挟み開放骨折し た。	38	7	50202	30～ 49
59	2020	7	15 ～ 16	自社倉庫で、65tクレーンのブーム格納作業中、クレーン本体上よ り降りるとき、クレーン本体の補助脚（高さ1m）から敷鉄板の上 に落下し、左手首を強打して、骨折した。	57	14	40301	50～ 99

60	2020	7	14 ～ 15	鋼材を工場内に運ぶ前にズレを直そうとした際、鋼材と鋼材の間に右手を挟み、右手示指を骨折した。	48	7	11209	1～9
61	2020	7	9 ～ 10	パイプ資材置場で、トラックの荷台からパイプをホイスト式クレーンで移送中、隣のラックに積み上げていた最上部のパイプに接触し、両足に落下して開放骨折を負った。	66	7	11209	10～ 29
62	2020	7	16 ～ 17	物流センター内で作業中、天井クレーンの器具で運ばれてきた製品を、トラックの荷台に降ろそうとしたところ、製品が荷台に設置する前に天井クレーンの器具から外したため、器具が上下に動き顔面に当たり体のバランスを崩して、荷台から落下し頭部挫傷、口内裂傷、左肩挫傷を負った。	47	1	40301	10～ 29
63	2020	8	16 ～ 17	高所作業車が脱輪したため、復旧作業をしていたところ、リフトで吊り上げて戻したとき、作業車のX字リンクに両手親指を挟まれて骨折した。	28	7	30201	1～9
64	2020	8	13 ～ 14	工場内で、クレーンにワイヤーを掛け移動中、別の材料にワイヤーが引っ掛かり、ワイヤーが左耳に当たり、左側頭部に挫傷を負った。	67	6	11209	30～ 49
65	2020	8	9 ～ 10	畑の整地作業でブロックを積む作業中、クレーンで吊るしたブロックを降ろす際、転がってきた石を手で払ったところにブロックが降りてきたため、左手を挟まれて環指と小指を骨折した。	78	7	60101	—
66	2020	9	13 ～ 14	昇降設備（曲面階段）をクレーンで設置作業中、階段底部プレートと接地面（H形鋼）がずれたため、押さえようとして右手親指がプレートとH形鋼に挟まれ、開放骨折、不全切断を負った。	35	7	30111	10～ 29
67	2020	9	8 ～ 9	倉庫内で重さ2tの鉄筋の荷降ろし作業中に天井クレーンの操作を誤り、トラック荷台と鉄筋の間に左腕前腕が挟まれ打撲した。	19	7	80109	30～ 49
			8	現場へ出発する前のクレーン点検中にクレーンから落ちて左肩を				10～

68	2020	9	9	打ち脱臼した。	63	1	30201	29
69	2020	9	14 15	現場に向かって運転中にトイレに行きたくなり、路肩にダンプを止めて、急いで下車しようとして飛び降りた際、足下にあった石に足を強打し、左第5趾基節骨を折った。	51	1	30209	1~9
70	2020	9	9 10	生産設備の近くで、金型の交換作業を行っていたとき、ホイストクレーン空フックを次の吊位置に移動させようとしたところ、フック先端が設備フレームに引っ掛かり、それが外れた反動でフックが跳ねた。その際、飛来したフックが顔面に激突し、右眼球破裂および右顔面を骨折した。	55	4	10805	50~ 99
71	2020	9	15 16	所属事業場で勤務中、加工対象の鉄板を天井クレーンで運搬中、地面に下ろそうとしたとき、鉄板が左右に揺れている状態で作業を行った。そのため、揺れた鉄板の角が左足首に接触し、裂傷を負い、化膿を発症した。	47	8	11209	50~ 99
72	2020	9	10 11	工場内で、グレーチングをクレーンで吊り上げ、定盤の上に降ろした際、グレーチングの下に手を入れたため、グレーチングと定盤の間に指が挟まれ、左手薬指と中指を骨折した。	28	7	11209	100 ~ 299
73	2020	9	21 22	無線機でクレーンを操作し、切り直し品2束（重量約6.4t）を置き場へ搬送したとき、玉掛けワイヤーが切り直し品と置き場レールに挟まって抜けなくなった。切り直し品をずらすためにクレーン操作を行った際に、切り直し品が被災者側に振れ、切り直し品と背後の製品山リン木で左太腿に裂傷、筋肉断裂を負った。	30	7	11001	100 ~ 299
74	2020	9	9 10	ガーターBOXを溶接作業中、準備作業をして振り向いたとき、ガーターBOXの鉄板が左目にぶつかって瞼に裂傷を負った。	44	3	11301	10~ 29
75	2020	9	11	シャーリング用鋼材置き場で、2トン梱包材をクレーンで吊り上げていた際、吊具の掛かりが悪かったため直そうとしたところ、吊具が外れて材料が崩れ、右足が挟まれて下腿に皮膚損傷を負っ	33	7	11209	1~9

			12	た。				
76	2020	9	9 ～ 10	キハダマグロを魚倉から岸壁へ積み降ろし作業中、マグロの尻尾にロープを付け2、3本をクレーンのフックに掛けて降ろしている際、1匹のマグロ（約30kg）が長靴を履いていた左足第二指に当たり、骨折した。	45	6	70201	10～ 29
77	2020	9	15 ～ 16	岸壁で、クレーン走行ブレーキのテスト中、つまずき転倒し、走行サドルとG?の隙間に左膝が挟まれ、左上肢デグロービングインジャリー、左手関節亜脱臼を負った。	69	2	11001	50～ 99
78	2020	10	16 ～ 17	ごみ収集時、段ボールにガムテープが付いており剥がれず、段ボールと一緒に左手が入口に巻き込まれた。その際、収集車の非常停止ボタンを押して機械を止め左手を引き戻したが、左手第2指・第3指を骨折した。	51	7	150109	10～ 29
79	2020	10	13 ～ 14	工場内で発電機の積み込み時に身ぶれをしたため、咄嗟に手を出して発電機と発電機の間で右人差し指を挟まれて骨折した。	53	8	170101	50～ 99
80	2020	10	13 ～ 14	発電機積み込みの際、荷振れが発生し、押さえようと手を出して、発電機と発電機の間で右手人差し指を挟まれ、骨折した。	53	7	11301	10～ 29
81	2020	10	16 ～ 17	工事のため通行規制中の道路上で、3tトラックに小型重機にて小型転圧機を積み込むとき、レバー操作を誤り、吊荷が振られて大腿部に接触し、右大腿部を打撲した。	47	3	30106	1～9
82	2020	10	13 ～ 14	工場内で、チューブ内を清掃中、水が出ないため、クレーン操作した際、チューブの後方に乗せていた発砲スチロールが小さく、チューブが安定せず、発砲スチロールから滑り落ち、右足の上に落下した。このとき、右足甲を骨折した。	26	4	11209	10～ 29
83	2020	10	14	倉庫で、フレコンの詰め替え作業中、天井クレーンのフックが外れ、フレコンが落下し、フォークリフトの爪に顔面が当たり、鼻	44	4	60101	1～9

			15	骨を折った。				
84	2020	10	16 ～ 17	ユニック車の荷台上で、積み直し作業中、クレーンで荷物を吊り上げて積み込み、横に並べて設置しようとしたが、旋回中に上部にある電線が気になり、荷物と荷物の間に手を挟み、右腕を骨折した	49	8	40301	10～ 29
85	2020	10	9 ～ 10	工場中央入口付近で、置いてあったプロテクター組立用パイプを整理するため、リフティングマット（500kg重量可）で吊って1m上げた際、マグネット位置が中心部より少しずれていたため、マグネットのかかりが不十分となり落下し、右足甲に打撲を負った。	26	4	11209	10～ 29
86	2020	10	9 ～ 10	工場内で、キュービクルの搬出を4人で行う際、天井裏の鉄骨部分に座りクレーンの指示出し役を行っていたとき、何かに引っ掛かった状態で上げようとして、キュービクルが跳ね上がり、キュービクルと屋根裏の鉄骨に足を挟まれ、左足踵に骨折・打撲を負った。	51	7	30199	10～ 29
87	2020	11	15 ～ 16	工場内で積み込み作業中、トレーラー荷台の上で別の場所に積んであった荷物（角パイプ1結束）を移動させようとして、クレーン操作者とともに玉掛け作業をし、クレーンで吊り上げた。その際、荷物が自分の方に動いてきたが、止められず押されて荷台の下に飛び降りたとき、角パイプ1本が落下してきて下敷きとなり、死亡した。	46	4	40301	1～9
88	2020	11	8 ～ 9	会社倉庫で、台車（120cm×100cm）が接続できる倉庫リフト（165cm×100cm）にて上昇し、天井まである倉庫棚より資材の取り出し作業を行っていた。そのとき、倉庫棚から中段にあるプラスチック製タンクを取ろうとリフトから台車に移動したところ、台車がリフトから外れ台車ごと3.5m落下した。その際、脇腹左あばらおよび骨盤骨折、ひ臓および肺に損傷を負った。	60	1	30203	10～ 29
			8	高圧容器製作所で、980K縦型貯槽の耐圧・気密検査が完了し、貯				

89	2020	11	9	槽を立てるため、クレーンで巻き上げ中に、貯槽脚と隣の貯槽鏡 9 の間に手を挟まれ、左中指に骨折および挫創を負った。	36	6	11209	10~ 29
90	2020	11	10 11	工場内で、排ガスダクトを取り外して清掃した後、再度組み立て 10 ようとした。脚立上で円形フードの位置を合わせながら、片手で クレーンを操作していたところ、横行スイッチを押したため、 11 フードが移動してきてぶつかった。その際、脚立ごと転倒し、恥 骨と尾?骨を折り、左鼠径部に筋損傷を負った。	49	1	11102	30~ 49
91	2020	11	15 16	工場内食料保管倉庫で、原料フレコンバックの積み替え中、ク レーンの操作を誤り、フレコンバックが本人に衝突し、パレット 上に落下した。その際、ヘルメットは着用していたが、右肩、右 腕、左親指に打撲傷を負った。	32	1	10109	1~9
92	2020	11	9 10	敷地内で、くず鉄を5tユニックに積み込み、コンテナを天井ク レーンで吊上げ中、2点吊りワイヤーの片方が外れ、反動でコンテ 10 ナが顔面に当たり、顔面・頭部に骨折、挫創を負った。	58	4	150109	10~ 29
93	2020	11	10 11	工場作業中、H鋼（200mm×200mm×5m）を天井クレーンで移動 しようとして吊り上げたとき、右足に向かって荷ぶれして右足脛に当 11 たり裂傷を負った。	62	6	11301	10~ 29
94	2020	11	10 11	工事現場で、天井の梁架け作業中、クレーンのフックが腰に下げ ていた釘袋に当たり、バランスを崩して3.3m落下し、右膝前十字 11 靭帯を断裂した。	37	6	30201	1~9
95	2020	12	11 12	工場内で、他の従業員がクレーンを操作中、下にあった物を取ろ うとしたときに、クレーンが下りてきて指を挟み、右第3指末節骨 12 を折った。	18	7	11209	1~9
96	2020	12	15 16	台車製材機の前で、ホイストで木材（約6m）を吊り上げようとし たとき、木材が濡れていたため台車から滑り落ち、右足首に当 16 たって骨折した。	29	4	10401	1~9
			9					

97	2020	12	～ 10	敷地内で、高所作業車積込中、積荷の高所作業車に右手を添えた際、右手親指を骨折した。	50	7	40301	50～ 99
98	2020	12	～ 12	11 造型場で、金棒（110×70×30、50kg）を天井クレーンに両端チェーンで金棒を吊り下げる作業中、バランスを崩してチェーンがずれたため、金棒が左足甲に落下した。その際、左拇趾基節骨を折った。	23	4	11002	10～ 29
99	2020	12	～ 12	11 工場で機械加工を行っていた際、立型マシニングセンターに鋼材（1本100kg）を載せるため、リフティングマグネットを付けてクレーンで吊り上げたところ、途中で外れて落下し、右足甲に直撃して骨折した。	43	4	11301	100 ～ 299

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各起因物における死傷災害事例\(最大99事例まで\)](#) (2020年) に戻る。